

変形性関節症や関節リウマチを専門治療

「人工関節センター」開設

呉医療センター 膝に特化啓発にも力

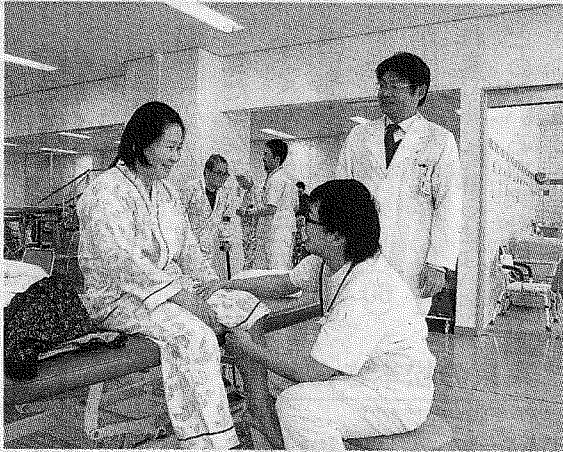
呉市の国立病院機構呉医療センター(青山町)は、加齢で軟骨がすり減り痛みを感じる変形性関節症や関節リウマチの患者に専門治療をする「人工関節センター」を開設した。最新の手術方法、痛みを抑えたりハビリで患者負担を軽減させる。

(滝川裕樹)

膝の関節治療に特化 約3千万円で導入し
する。人工関節の手術 エチレンの器具に置き
経験が豊富な整形外科 換える。手術で出た血
医4人と理学療法士2 液を洗浄して体内に戻
人、看護師4人が専任 す無輸血手術を採用。
チームを組み、きめ細 術後の輸血などが要ら
かい治療を目指す。 ず、感染症のリスクを
手術は傷んだ関節を 抑えられる。

く骨を切断、器具を装着できる。手術後に血を排出する管を患部に挿さず、傷口を特殊なボンドで固定することで、翌日からシャワーやリハビリができる。患者に痛みを感じさせない方式でリハビリを

実施する。同病院によると、中国地方で人工関節に特化した診療部門は珍しいという。同病院は年約80人の人工関節手術を実施しているが、センター開設により150人に増やす。安本正徳センター長は「人工関節は怖いと感じる人は少なくないが、入れた後にこんなに楽になったという人は多い。普及啓発にも力を入れたい」と話している。



手術後のリハビリを見守る安本センター長(右奥)